

第3回アース・サロン開催報告

ダイバーシティ推進準備会

1. アース・サロンの目的

平成30年度研究発表会の初日(10月15日)に第3回アース・サロンを開催した。アース・サロンは、数少ない女性技術者・研究者やダイバーシティ推進に興味のある方々の交流を目的として始めた催しである。前2回は参加者同士のネットワーク作りを主目的としていたため、ワールド・カフェ方式でテーブル毎に意見交換をしていただいた。今回は、学会の歴史・特徴に沿ったダイバーシティを実現するために我々が取り組むべき内容について意見を頂くことを目的として、参加者全体で意見交換を行った。

2. 意見交換とアンケートの結果

まず、脇坂会長から学会の課題についてご説明いただき、和田からサロンの主旨説明を行った。その後、30分かけてお茶とお菓子を頂きながら意見交換を行った。参加者は約30名である。

参加者からの意見をいくつか紹介しよう。学会の課題のうちシニア層の活躍については、退職した方々にも活躍の場があることを知っていただきたいという意見があった。男女共同参画に関しては、性別による差別はいけませんが性差を認め区別することは必要だという意見や、各委員会に女性に参画していただき多様化を図るのが良いという意見があった。そのほか、シニア層と若手層や一般市民と専門家を繋ぐ機会が必要であるという意見も頂いた。特筆すべきこととして、非会員の参加者から「学会に入会するメリットは何か」という根源的な問いを頂いた。会長からは、大きな利点として多様な会員との人脈形成があること、研究発表や論文投稿によって技術力・能力向上が図られること、これらのような明確な目的を持って参加することで学会活動は有意義なものになるという回答があった。

参加者から回答いただいたアンケート結果のうち、来年度のアース・サロンで取り上げたい内容と学会が取り組むべき内容についての結果を図-1に示す。若手の参加促進の票数が最も多く、男女共同参画、シニア活動継続が次ぐ結果となった。これらは独立した課題ではないため、筆者は

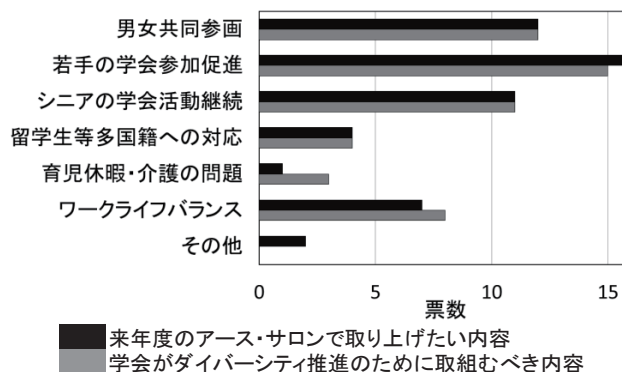


図-1 第3回アース・サロン参加者へのアンケート結果

三位一体の解決策を模索したい。また、順位の低い課題についても優先順位を考慮しつつ取り組みたいと考える。

3. ダイバーシティ準備会の今後の活動

ダイバーシティ推進準備会では約1年をかけて学会のダイバーシティ推進の在り方について検討を行う予定である。今回のアース・サロンで頂いた意見を参考にするとともに、今後も多様な会員の意見や要望を伺う場をいくつか設け、より多くの方々の声を活動に反映したいと考えている。また、アース・サロンはポスターセッションと同時間に開催のため参加したくてもできないという声を毎回頂いている。来年度は、開催形態を工夫したい。

最後に、アース・サロンの運営に協力して下さった北海道支部の方々と貴重な時間を割いて参加して下さった方々にこの場を借りてお礼申し上げます。

(文責：和田里絵)



写真-1 第3回アース・サロンの参加者